

SQMARCA Lab.

COLOR JELLY

PRODUCT MANUAL

Hair coloring products with creative
and hair care effects based on
an unconventional approach



Professional
only

彩限ないクリエイション

まるでラボで実験するように、常識にとらわれない
 組み合わせや使い方を叶えるサロンカラーブランド
 「SOMARCA Lab. (ソマルカラボ)」。

その自由度と確かなクオリティがヘアデザイナーの
 感性を刺激し、創造力と色表現にどこまでも広がりをもたらし、



LINE UP & FEATURE

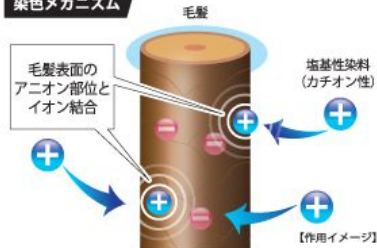
クリエイティブの可能性を高める、8色のカラーゼリー

								
								
Cyan シアン	Royal Blue ロイヤルブルー	Anemone Purple アネモネパープル	Candy Pink キャンディーピンク	Mandarin Orange マンダリンオレンジ	Brilliant Yellow ブリリアントイエロー	Mint Green ミントグリーン	Sweet Milk Tea スウィートミルクティー	Jelly Medium ジェルメディウム
薄めて使用すれば透明感のある水色を表現可能な、柔らかで純粋なシアン	薄めても緑味に振りにくい、紫味を含む深いブルー	紫味と青味を同時に感じられる、貴味をかき消す深いパープル	薄めることで柔らかいピンクが表現できる、濁りのない高発色なピンク	みずみずしい発色と柔らかさを兼ね備えたフレッシュなオレンジ	塩基性染料ならではの発色を叶える、高発色で儚くないイエロー	薄めても高発色を表現可能な、柔らかで澄んだグリーン	自然な影復調により、絶妙なくすみ感と自然な馴染みを叶えるミルクティー	カラーゼリーのポテンシャルを維持する専用のクリア剤

カラーゼリーに使用される『塩基性染料』について

繊維業界では1950年代からアクリル繊維の染色に用いられていましたが、欧米ではカラートリートメントとしても使用されてきました。日本では2001年の化粧品規制緩和により化粧品分類の染料として使用が開始されており、主にカラートリートメント、カラーシャンプーの染料として使用されています。

染色メカニズム



特徴

- ・毛髪への染着工程による酸化ダメージが発生しない
- ・塩基性染料の種類によって、pHの変動により染毛性などの影響を受けやすいものと受けにくいものが存在する
- ・褪色は主にシャンプーに含まれるアニオン性界面活性剤によって促される
- ・染料濃度や毛髪の状態、塗布技術によって、ムラ染まりになる可能性がある

SOMARCA Lab.は持続可能な社会の実現に向け、商品の製造過程やパッケージにおいて自然環境に対しての配慮を行い商品化しています

製造面	製品調製時において、加温及び冷却工程を必要とせず、電力や水の使用量に配慮した製造方法によって作られます。
パッケージ	<p>包材にバイオマス材を使用することで、パージンの石油由来樹脂の使用量を削減できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左：チューブ（カラーゼリー） バイオマスインキ使用 チューブ材質の一部にバイオマス原料を使用 ・右：パウチ（ジェルメディウム） バイオマスインキ使用

イラストと画像は全てイメージです。

EXPLANATION OF MATERIAL

1 塩基性の性能を引き出す「アクティブジェリー処方」

ソマルカラボは塩基性染料を使用したカラーリングに適したベース基剤を開発。塩基性染料の為に開発した「アクティブジェリー処方」でデザイナーのクリエイティブワークをよりサポート可能に。



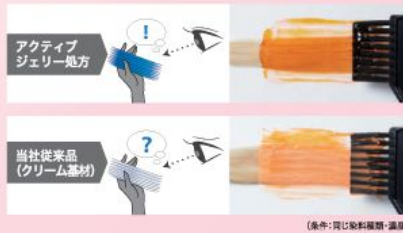
■ 操作性

伸びの良さと食いつきを両立した絶妙なテクスチャーによって、薬剤混合から、塗布、毛髪へ馴染ませる一連の作業を極限までストレスフリーに。



■ 視認性

液色のクリアさが染毛時の視認性を高め、よりクオリティの高いデザインづくりが可能に。



■ 均染性

ジェリーの持つ浸透性の高さが色ムラを抑え、均一感のある染まりを可能に。



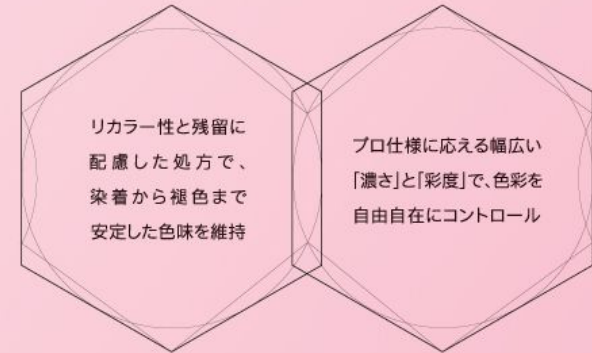
■ 地肌汚れ

基材の特性により、頭皮についても汚れにくい。



2 塩基性カラーの課題にアプローチする、厳選した塩基性染料オンリー処方

HC染料は使用せず、褪色やリカラー時を考慮して厳選した塩基性染料のみを使用した処方設計。プロならではのカラーデザインを提供します。



3 プリーチ毛に適した「Z-ボンディング成分」配合

ダメージ毛のキューティクル層に作用し、毛髪強度向上へ導く毛髪補修成分「Z-ボンディング成分」配合。ブリーチベースのクリエイティブカラーデザインに対して高いケア効果を発揮します。

作用前 作用後

ダメージ毛に作用し、毛髪強度向上へ導く

Z-ボンディング成分

※グルコン酸亜鉛

グルコン酸亜鉛とは

サプリメントの原料にも使用されるグルコン酸亜鉛には、毛髪の引張強度を高める作用があることがわかりました。ハイトーン施術に適した成分としてソマルカラボに配合しています。

【作用イメージ】

イラストと画像は全てイメージです。

COLOR CHART

	Cyan シアン	Royal Blue ロイヤルブルー	Anemone Purple アネモネパープル	Candy Pink キャンディーピンク	Mandarin Orange マンダリンオレンジ	Brilliant Yellow ブリリアントイエロー	Mint Green ミントグリーン	Sweet Milk Tea スウィートミルクティー	
TINT									TINT
18.5 Level									18.5 Level
16 Level									16 Level
色の強さ イメージ									色の強さ イメージ (ホーユー調べ)

実際の染め上がりの色は、地毛の髪色、質により異なります。また、印刷物ですので実際の色は多少異なります。色見本は目安としてご参照ください。

COLOR SIMULATION

ジェリーメディウム
ミックス

染毛前のブリーチレベルを考慮しながらジェリーメディウムの配合比を
変えることで、仕上がりの髪色をコントロール可能。

	メディウム混合比 1:3			メディウム混合比 1:10			メディウム混合比 1:50			メディウム混合比 1:100			
	TINT	18.5Level	16Level	TINT	18.5Level	16Level	TINT	18.5Level	16Level	TINT	18.5Level	16Level	
Cyan シアン													Cyan シアン
Royal Blue ロイヤルブルー													Royal Blue ロイヤルブルー
Anemone Purple アネモネパープル													Anemone Purple アネモネパープル
Candy Pink キャンディーピンク													Candy Pink キャンディーピンク
Mandarin Orange マンダリンオレンジ													Mandarin Orange マンダリンオレンジ
Brilliant Yellow ブリリアントイエロー													Brilliant Yellow ブリリアントイエロー
Mint Green ミントグリーン													Mint Green ミントグリーン
Sweet Milk Tea スイートミルクティー													Sweet Milk Tea スイートミルクティー

実際の染め上がりの色は、地毛の髪色、質により異なります。また、印刷物ですので実際の色は多少異なります。色見本は目安としてご参照ください。

COLOR SIMULATION

褪色性能

ブリーチ処理後にジェリーメディウム混合比1:1で染色した毛髪の2週間後の褪色イメージ

	染色前 18.5Level		ジェリーメディウム 混合比 1:1		2週間後 ^{※1} 褪色イメージ
Cyan シアン		▶		▶	
Royal Blue ロイヤルブルー		▶		▶	
Anemone Purple アネモネパープル		▶		▶	
Candy Pink キャンディーピンク		▶		▶	
Mandarin Orange マンダリンオレンジ		▶		▶	
Brilliant Yellow ブリリアントイエロー		▶		▶	
Mint Green ミントグリーン		▶		▶	
Sweet Milk Tea スイートミルクティー		▶		▶	

リカラー性能

18.5Levelまでブリーチ処理後、ジェリーメディウム混合比1:1で染色し2週間経過した毛髪に各種脱染処理を20分間行った際のイメージ

ジェリーメディウム混合比1:1 2週間後褪色イメージ		ライトナー ^{※2} 0×2%処理	脱染剤 ^{※3} 0×2%処理	パウダーブリーチ ^{※4} 0×2%処理
	▶			
	▶			
	▶			
	▶			
	▶			
	▶			
	▶			
	▶			

※1 シャンプー2週間相当の褪色試験(ホーユー調べ) ※2 11レベル相当ライトナー ※3 レセティントントローラー ※4 レセパウダーブリーチEX
実際の染め上がりの色は、地毛の髪色、質により異なります。また、印刷物ですので実際の色は多少異なります。色見本は目安としてご参照ください。

HOW TO USE COLOR JERRY

カラージェリーは塩基性染料がイオン吸着することにより毛髪に染色するメカニズムのカラーアイテムです。仕上がりの色ムラを少なくするため、『ベース塗布』から『チェック塗布』へ染色具合を確かめながら進めていきます。

事前準備

塩基性染料を塗布するため、毛髪をややウェットな状態にします。

- ・しっかりタオルドライした程度の水分量が必要になります。
- ・薬剤が床などに落ちる場合は事前にシート等の準備をお勧めします。

薬剤選定・調合

毛髪の明度と求める仕上がりの色を考え、使用薬剤を決定します。

- ・他の色やジェリーメディウムをミックスする場合は良く混ぜて使用してください。

ベース塗布

ネープからスライス幅1cm程度のパネルを引き出し薬剤を塗布します。

- ・コーミングは出来る限り行わず、パネルに対して揉みこむように薬剤を塗布します。
- ・パネル全体の塗布量を均一にすることを意識しながら、リズム良く進めます。



チェック塗布

ベース塗布が終了したら、続けてチェック塗布に進みます。

- ・スライス幅1cm程度のパネルを引き出し、ベース塗布の薬剤をテールで取り除き染色具合を確認します。
- ・パネル全体を確認しながら、染色が足りない部分に薬剤を塗布し揉みこみます。



POINT! 特に毛先部分が染毛されにくい為、パネル全体をチェックした後、毛先中心に更に薬剤を揉みこみます。

注意! テールで取り除いた色が薄い薬剤は、再塗布はせず空いたカップなどに移して処理してください。

放置

塗布終了後、5分～20分程度自然放置します。

- ・チェック塗布がしっかり行われていれば5分放置でも構いませんが、放置時間を延ばすと色持ちが良くなる傾向があります。

流し

シャンプー台で薬剤の色が出なくなるまでしっかりと流します。

- ・塗布直後シャンプー剤を使用すると、褪色の原因に繋がります。
- ・流し後、毛髪のコンディションが気になる場合は、トリートメントをしてください。

POINT! 予想よりも濃く仕上がった場合は、適切な色味になるまでシャンプーを行うことで濃さを調整することも可能です。

注意! 濃いカラーを使用した場合、染毛後、暫くの間ご自宅でのシャンプー時の泡に色が付いたり、タオルに色が付くことがあります。



ブリーチレベルによる 塩基性染料の染色目安



カラージェリーにはブリーチ力が一切ありませんので、アンダーの見極めと薬剤選定の濃度設定が重要となります。

ブリーチ処理

17レベル以下

濃い薬剤を選定してカラーリングを行う場合は問題ありませんが、薄い色調の表現は難しくなります。

17レベル～18レベル

薄い色調での表現は可能ですが、色調によってはアンダーの黄色に覆られる場合もありますので注意が必要です。

18.5レベル以上

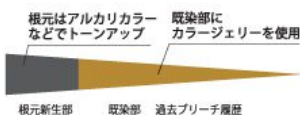
薄い色調でもしっかりと表現できます。
※染料が薄くなっているためムラにならないように塗布量に注意しましょう。

カラージェリーを 使用する際の注意事項

カラージェリーは褪色やリカラー時を考慮した染料の処方設計となっているため、使用する際は下記注意点を必ずご確認ください。

① アルカリ性酸化染料(アルカリカラー)との併用

ケース1: リタッチと同時施術



ケース2: ブリーチ後のリカラー



アルカリ性酸化染料(低アルカリ含む)とカラージェリーの併用は、色調や使用するアルカリカラーによっては思われるような発色にならない可能性がありますのでご注意ください。

※同時施術が必要な場合は、ホイール等を使用して剤が重ならないように施術するか、アルカリカラーを流した後にインバスでの施術をお勧めいたします。

② 色を薄めてカラーリングを行う場合

色を薄めた際も、視認性・操作性・均染性・ヘアケア性を維持するためにカラージェリーに適したジェリーメディウムを使用してカラーリングを行ってください。

他の剤を混ぜて薄めないでください。使用感や仕上がりに影響する可能性があります。



イラストと画像は全てイメージです。

hoyu
Professional



公式アプリ(理美容師様専用)好評配信中!

最新情報はもちろん、商品使いこなし動画やおすすめヘアカラーアレンジレシピなど、
業務支援を目的としたコンテンツを多数ご用意。
■商品の使いかた動画 ■商品パンフレット ■セミナー予約 etc.



ソマルカラボ
オフィシャルサイト

<http://somarcalab.jp>

